

# あわらし観光振興戦略

を策定しました！

問合せ 観光振興課 ☎ 73-8029

## 戦略のコンセプト

### かんこうち 和心あふれる 国際的な感幸地 — 温泉・食・人で心と体が笑顔になる観光地の創造 —

2023年の北陸新幹線の敦賀延伸を踏まえ、福井県の北の玄関口として、これまでの関西圏・中京圏に加え、関東圏や海外からの観光客を迎え入れるため「和心あふれる 国際的な感幸地」へと発展させます。

和心の「和」とは、おもてなしを連想させる日本的な「和」という意味だけでなく、心が温まる、癒やされる「和み」、周囲のまちなみや自然、人と人との「調和」という意味を表しています。

また、「感幸地」という言葉には、県民の幸福度ナンバーワンの福井県において、住む人も、訪れた人も、その土地の自然や食、温泉や人の温かさに触れて幸せを感じることが出来る土地、という意味を込めており、外国人をはじめ高齢者や障害者が安全安心に楽しめる「日本一の感幸地」を創造していきます。

#### あわらし観光振興戦略の策定

観光交流人口および市内での観光消費額を増加させ、観光による経済波及効果を生み出すため、市内全域に波及させるため、今後の観光政策の道しるべとなる「あわらし観光振興戦略」を策定しました。

#### 7戦略16施策52事業

観光振興戦略のコンセプトのもと、7つの戦略を掲げ、各戦略の方針に沿って16の観光施策、52の事業を実施します。

#### 計画期間

2019年度～2023年度（5年間）

#### 数値目標

	2018年	2023年
観光入込客数	172万人	220万人
宿泊客数	82万人	100万人
うち外国人宿泊客数	2万人	5万人
観光消費額	231億円	312億円

#### 戦略Ⅰ 魅せる

「あわらしならではの」の魅力の磨き上げ

#### 戦略の方針

温泉をはじめ、豊かな自然や歴史・文化、四季折々の食や祭りなど、地域ごとの特徴ある地域資源を掘り起こし、磨き上げ、あわらしならではの魅力的な観光資源に高め、エリア全体の魅力の底上げを目指します。

#### 施策

- あわらし温泉の魅力の磨き上げ
- 自然・歴史・文化・食などの観光資源の磨き上げ
- あわらしブランドの創造と知名度向上

#### 主な事業内容

- 外国人観光客に人気のある戸原芸妓文化を継承する
- あわらし独自の湯かけまつりを、日本一の湯かけまつりにする
- 歴史文化資源を魅力的な観光資源に磨き上げる



#### 戦略Ⅱ 創る

地域の個性を生かした魅力的な観光エリアと拠点の創造

#### 戦略の方針

芦原温泉駅西口広場は、福井県の北の玄関口にふさわしい交通結節点や魅力発信拠点として整備し、駅周辺のにぎわいを創出します。

また、市内の地域特色に応じた観光エリアの整備を推進するとともに、これらを効果的、効率的にネットワーク化し、周遊・滞在型の観光地を目指します。

#### 施策

- 北陸新幹線芦原温泉駅周辺整備
- エリアの特徴を生かした地域づくり
- テーマのある景観づくり
- ユニバーサルな受け入れ環境づくり

#### 主な事業内容

- 芦原温泉駅周辺を魅力的な福井県の北の玄関口にする
- 地域ごとに、自然、歴史・文化、食、体験、遊びといったそれぞれの特色を生かしたテーマ性のある観光地づくりを推進する
- キャッシュレス決済の推進など観光客の受け入れ環境整備を促進する



#### 戦略Ⅲ 誘う

マーケティングに基づいた 誘客拡大

#### 戦略の方針

観光客の動向やニーズなどに基づき、特別感のある「あわらしならではの」の観光ルート・旅行商品・土産品の企画・開発や販売拠点の充実を目指します。

また、当り前の自然や歴史、文化、食などが、外国人観光客には興味や価値がある可能性があり、新たな体験プログラムやサービスの提供ビジネスを創出し、観光消費額の増加を目指します。

#### 施策

- マーケティングの実施と活用
- 「あわらしならではの」の旅行商品やお土産の開発

#### 主な事業内容

- 多様化する観光客のニーズを的確に把握するためのマーケティング調査を実施する
- 外国人も楽しめる体験プログラムを造成する
- 生産・加工・流通事業者が連携し、あわらしの特産品を生かした売れる商品を開発する



#### 戦略Ⅳ 伝える

ターゲットに伝える戦略的な 情報発信と営業活動の展開

#### 戦略の方針

ニーズに応じた情報発信を強化し、効果的かつ戦略的なセールス活動を推進します。

北陸新幹線開業を踏まえ、さまざまな団体と連携した周遊・滞在商品の共同開発や共同プロモーションに加え、民間企業、県、周辺市町、観光関連団体と連携した営業活動を推進します。

#### 施策

- 戦略的な情報発信
- さまざまな団体と連携した営業活動や旅行商品の共同開発

#### 主な事業内容

- SNSや各種メディアを有効に活用し、ターゲットにあわせた情報を的確に届ける
- 広域連携により知名度と発信力を高め、効率的なプロモーションを展開する



#### 戦略Ⅴ 結ぶ

組織や地域を結ぶネットワークの整備

#### 戦略の方針

鉄道やバスをはじめとするさまざまな移動手段の充実と利便性の向上を図り、観光地へのアクセスや観光地間の周遊性を高めます。

また、高速交通網を生かした広域的な観光ルートを開発し、観光客の周遊性を高め滞在時間を延ばすため、広域連携により、効果的な広域観光情報の発信などを展開します。

#### 施策

- 市内外を結ぶ二次交通ネットワークの形成
- 広域観光ネットワークの活用

#### 主な事業内容

- 市内の観光地間を結ぶバスやタクシーを生かしたサービスを整備する
- 市内主要観光エリアにレンタサイクルなどの気軽な移動手段を整備する
- 市内外の観光地を移動できる交通手段の確保について検討する



#### 戦略Ⅵ 育てる

観光振興を担う人材育成と 推進体制の充実

#### 戦略の方針

ふるさとを愛する市民の育成とあわらしへの愛着の醸成を図り、次世代に継承する人づくり、地域づくりを進めます。

観光客に対するおもてなし環境の整備、観光コンシェルジュや語り部、市民ガイドの育成、観光産業を担う人材の確保や育成を強化します。

#### 施策

- 市民のおもてなし意識の醸成
- 観光コンシェルジュや観光ガイドの育成
- 観光推進体制の強化

#### 主な事業内容

- ふるさと教育や市民対象のおもてなし講座などを開催し、地元の誇りや愛着を育成する
- 自然や歴史・文化、食、祭りといったさまざまな分野の観光ガイドの育成と研鑽を継続的に実施する



#### 戦略Ⅶ 招く

世界から招く受け入れ環境の整備

#### 戦略の方針

外国人観光客は、独自の生活文化や祭りなどの特別体験を求めて、都市圏から地方へ旅をするトレンドに移行するといわれており、戦略的に誘客するために、「あわらしならではの」特別感のある体験プログラムや土産品の開発、多言語表記、人材の確保と育成など、外国人観光客が滞在できる環境の整備を強化します。

#### 施策（再掲）

- 自然・歴史・文化・食などの観光資源の磨き上げ（再掲）
- ユニバーサルな受け入れ環境づくり（再掲）
- 「あわらしならではの」の旅行商品やお土産の開発（再掲）
- 戦略的な情報発信（再掲）
- さまざまな団体と連携した営業活動や旅行商品の共同開発（再掲）
- 観光コンシェルジュや観光ガイドの育成（再掲）

#### 主な事業内容

- 国内観光客はもとより外国人観光客が楽しめる「あわらし」となるよう、外国人観光客を受け入れるための各種施策を実施する

